

観覧についてのお願い

1 荷物の持ち込み

- (1) リュックサックや水筒は、バスに置いてきていただく（混雑日はぜひ）か、エントランスで職員が指示した場所に学校（学級）ごとにまとめて置くようにしてください。
- (2) 展示室内へは、学習に必要なもの（筆記用具・用紙・見学バック）以外は持ち込めません。筆記用具は、鉛筆かシャープペンシルを使ってください（ペン類は一切禁止です）。

2 安全やマナー

- (1) 転倒や落とし物にご注意ください。資料の保護や復元展示の関係で、館内がやや暗く、デコボコしている床もあります。
- (2) 走ったり大騒ぎしたりしないでください。他のお客様もいらっしゃいます。
- (3) 展示物を大事にしてください。
 - ・触れてよいものでも、壊さないように、やさしく丁寧に触れてください。もし展示物を破損してしまったら、担任を通じて職員にお申し出ください。触れてよいのか判断できないときには、近くの職員にお尋ねください。
 - ・ガラスケースの上でメモを取らないでください。
 - ・展示物を持ち帰らないでください。（繭、玉砂利、おもちゃなど）


○次のところへは、入らないでください。

- ・オープニング「木曾ヒノキ」・・・下草部分
- ・原 始「縄文のムラ」・・・「背景画」前の植栽部分
- ・中 世「善光寺門前」・・・川(手前と奥)の中、店のむしろの上、寺庵の縁の下
- ・近 世「農家」・・・馬小屋、肥溜めの中
- ・近 現 代「製糸工場」・・・器械の中、玉砂利を敷いてある所


○次のところへは、履物を脱いでからお入りください。

- ・原 始「竪穴住居」・・・毛皮の敷物の上
- ・中 世「善光寺門前」・・・寺庵内の床面
- ・近 世「農家」・・・居間のむしろ（ねこ）の上

○壊れやすいので、次の展示資料には触れないでください。

- ・ガラスケースおよび、ガラスケース仕切り内の展示資料
- ・原 始・・・「ナウマン象」の牙、北村縄文人の女性人形
- ・中 世・・・善光寺の草 馬は手を触れてもよいが乗らない
- ・近 世・・・農家外の南天
- ・近 代・・・「製糸工場」の糸・繭・器械
製糸工女・教婦の服装・工女の食事
- ・  「手をふれない」マークのある展示資料

3 撮影

- (1)  「撮影禁止」マークのある展示資料は、撮影できません。資料保護のため、ガラスケース内の資料に向けてのフラッシュ撮影も不可。常設展示室内での児童、生徒の様子はフラッシュ撮影可。
- (2) 企画展示室内は、原則として撮影できません。

4 館内での昼食 原則として館内ではとれません。雨の場合は、バスの中でとってください。徒歩や電車で来館の場合は、ご相談ください。

5 体調 体調が悪い等の場合は、職員にお申し出ください。